

# 完了後の評価個表

整理番号	2-1
------	-----

事業名	民有林補助治山事業 (地域防災対策総合治山)	都道府県名	北海道
事業実施地区名	木直(きなおし)	事業計画期間	平成14年度～平成18年度(5年間)
関係市町村名	函館市	事業実施主体	北海道
完了後経過年数	5年	管理主体	北海道
事業の概要・目的	<p>当地区は、函館市木直町市街地から南東に1.8km離れた国道278号線沿いの急崖山腹斜面である。</p> <p>当斜面は、平成13年に落石が発生し、斜面脚部に位置する人家・国道等に被害を与えた。また、それ以前にも隣接斜面において数回の落石・山腹崩壊があり、災害発生が懸念されていた。</p> <p>このことから、崩壊斜面を早期に復旧し、再度災害の防止を図るため法切工、法枠工等の山腹工を実施したものである。</p> <p>なお、総事業費については、事業着手後の調査結果による施設配置の見直しやコスト縮減に伴い減少している。</p> <p>・主な事業内容：山腹工2.9ha（法切工9,739.0m<sup>3</sup>、法枠工22,610.2m<sup>2</sup>等）          ・総事業費：1,016,291千円（平成13年度評価時点：1,204,000千円）</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当事業の実施により、山腹崩壊による直下の人家・国道への被害を未然に防止する効果を山地災害防止便益として計上しており、その算定基礎としている人家・国道等の数量に特段の変化は見られない。</p> <p>また、荒廃地・荒廃移行地等の復旧整備を実施し、洪水防止、流域貯水に寄与する効果を水源かん養便益として計上しており、その算定基礎である事業効果区域面積等には特段の変化は見られない。</p> <p>総便益(B) 2,323,733千円（平成13年度評価時点：2,062,548千円）          総費用(C) 1,384,919千円（平成13年度評価時点：1,107,140千円）          分析結果(B/C) 1.68（平成13年度評価時点：1.86）</p>		
② 事業効果の発現状況	<p>山腹工を施工したことにより山腹崩壊や落石の発生が防止され、山腹直下の人家や国道の安全が確保されている。</p>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により整備した治山施設については、北海道において定期的に点検を行い、適切に管理している。</p>		
④ 事業実施による環境の変化	<p>山腹工を施行したことにより、山腹の拡大崩壊の防止が図られ植生の回復が進んでいる。</p>		

⑤ 社会経済情勢の変化	<p>当事業の保全対象としている集落の人口、国道の重要性に特段の変化は見られない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主な保全対象：人家53戸、国道4000m</li></ul>
⑥ 今後の課題等	<p>当事業で施行した山腹工については、機能・効果に問題なく、改善措置等の必要性は見られない。 今後は、定期的な点検等を実施していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元の意見： 事業実施により、土砂崩壊の防備機能の高度発揮に寄与しており、また、人家や国道の通行の安全が保たれていることから、当事業の実施の効果が発揮されている。（北海道）</li></ul>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 必要性： 落石・山腹崩壊が発生し人家・国道に被害を与え、また隣接斜面においても同様に被害を与えるおそれがあったことから、山地災害を防止するため事業の必要性が認められる。</li><li>・ 効率性： 山腹工の計画にあたっては、岩盤斜面内の亀裂観測を行うことにより、最小限の法切に努めるなど現地に応じた最も効果的・効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減を図り総事業費の削減に努めたことから、事業の効率性が認められる。</li><li>・ 有効性： 当事業の実施により落石・山腹崩壊の発生の防止が図られ、地域住民の生活や国道の通行の安全・安心が確保されていることから、事業の有効性が認められる。</li></ul>

整理番号

2

**便 益 集 計 表**  
(治山事業)事業名：地域防災対策総合治山  
施行箇所：木直都道府県名：北海道  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	290,245	
	流域貯水便益	22,484	
	水質浄化便益	53,768	
災害防止便益	山地災害防止便益	1,957,236	
総 便 益 (B)		2,323,733	
総 費 用 (C)		1,384,919	千円
費用便益比		$B \div C = \frac{2,323,733}{1,384,919} = 1.68$	

# 評価箇所概要図

整理番号	2
------	---

北海道

事業名	民有林補助治山事業 (地域防災対策総合治山)	地区名	木直
-----	---------------------------	-----	----



凡 例	
	事業実施区域
	施工箇所 (工事)
	保全対象 (計画)
	保全対象 (便益範囲)



保全対象

